

日本脊椎脊髄病学会 平成 25 年度第 1 回安全医療推進委員会 議事録

平成 25 年 4 月 26 日 (金) 7:00-8:00 ラグナガーデンホテル (沖縄) 明海の間

出席者: 井口, 米, 今城, 大川, 尾形, 小澤, 島田, 根尾, 田口 欠席: 大谷

1. JSR 論文について

JSR 論文は今回の調査結果を, JOS 論文は過去の合併症調査との比較を主眼とすることが再度確認された。今回, 今城委員が作成した JSR 論文 (案) について, いくつかの語句の修正や表 13 の削除などをおこなった。またタイトルは「日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄病手術合併症調査 2013」とすることに決定した。さらに委員の名前や所属名称の確認のため, 日本語・英語表記ともに 1 週間以内に, 今城委員までメールで報告することになった。

今後, 簡単な考察を加え修正した論文を各委員にメールで送り校正を受け, 5 月末をめぐりに JSSR に投稿し受理証明をもらうことになった。

2. JOS 論文について

Materials and methods で参加施設の詳細やバイアスについてもう少し詳しく記載し, discussion や reference を充実させる。また比較統計処理はぜひ必要であるとの意見でまとまった。今後出来上がればメールで意見を聞き, 10 月の日整会基礎学術集會に合わせ開催される予定の委員会で最終検討とする。

3. 雑誌 Spine への論文について

急激に進行する高齢社会に対応した脊椎脊髄外科という観点でまとめる。いろいろな切り口が考えられるが, 60-74 歳までと 75 歳以上の比較調査や, 年代別の変化なども考慮してはどうか。諸外国との比較は難しいかもしれないが, 主な疾患の合併症であれば海外論文との比較も可能ではないか。とりあえず, 田口アドバイザーの指導により今城委員がまとめた結果をもとに, 再度検討することに決定した。次回までに原案を作成し, 委員のご意見を聞く。

4. その他

調査報告論文の筆頭著者は今城委員とし, 続いて田口, 米委員で, 他の先生はアルファベット順に, 最後は井口にすること, corresponding author は田口アドバイザーとすることが決定された。また, 本調査後の医療安全に関する委員会事業を考えていくべきではないかとアドバイザーより提案があった。意見を聞いたところ, 医療安全に関する患者向けの本 (パンフレット) を作る, 「インフォームドコンセントのし方」のモデル版を作ってはどうかなどの提案があった。